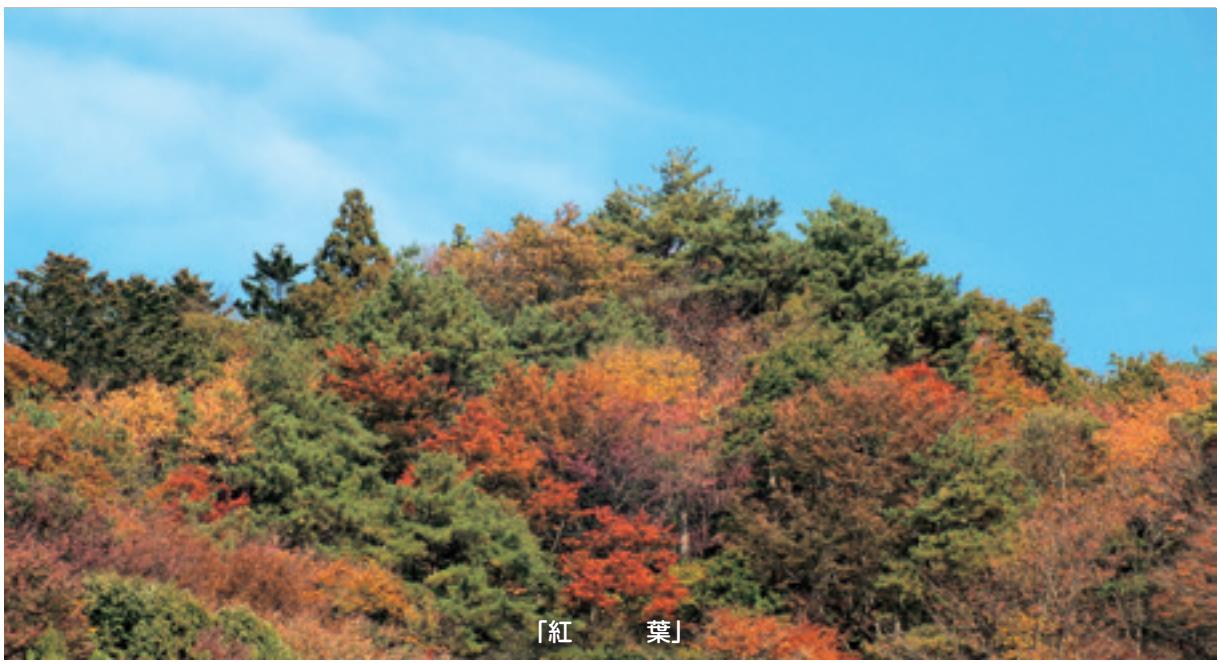
カナン村

第110号

●発行:社会福祉法人いわき福音協会カナン村
●住所:いわき市平上平窪字羽黒40 ●TEL:(0246)23-8611 ●FAX:(0246)23-8612 ●E-mail:kanan@bz03.plala.or.jp



「紅　葉」

鈴木　功美（当施設利用者）

危機管理

所長　猪狩　忠

施設の情報提供手段の一つである広報誌「カナン村」は年三回の発行になっていますが、諸事情により予定の八月に発行することができませんでした。心待ちにしておられる皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。

さて、平成二十七年十月からマイナンバーの通知が開始されております。このマイナンバーは、主に行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号であります。行政サービスなどにおける情報管理・情報検索・情報連携の効率化、正確化を図るために導入されるものですが、現状では社会保障・税・災害対策の三分野での利用に限定されるとされています。

情報社会である現代では、パソコン等のデジタル機器の発達により多くの情報を所持することが容易となりました。多くの利用者さんが生活している福祉施設で保管・利用されている個人情報の量は計り知れません。ここで気を付けなければならないのが、マイナンバーをはじめとする個人情報の漏洩・流出ではないでしょうか。

企業をはじめとする団体は、暗号化やパスワードを設定する、USBメモリの持ち込みや使用を禁止する、インターネットそのものへの接続を制限する等、様々な方法を使い情報の漏洩・流出への対策をしています。これは我々社会福祉施設にとっても他人事ではありません。従来の事故や怪我、災害のほかに、情報の取り扱いについても「危機管理」が今後ますます重要になるのではないでしょうか。

ニュースフラッシュ

研修報告

救命救急講習を受講して

支援員　管﨑　智啓

今回、救急救命の講習に参加し、様々なことを学ばせていただきました。

心肺停止してから、三分経つと救命率は七十％、五分で五十％、十分を過ぎるとほぼ助からない状態になってしまいます。そして、救急車を呼んでから現場に到着するまで約六～七分かかってしまうため、救急車が到着するまでの対応が生死を分けることになるのです。

緊急救命の説明を一通り受けた後、人形を使って実際に心肺蘇生を行いました。心臓マッサージのための胸骨圧迫を行い、両手を添えて、胸骨を三十回押す。一分間に百回押すペースで行う必要があり、そして、胸を四～五㎝まで深く押さないといけないため、かなり強く押さなければなりません。人工呼吸を二回→胸骨圧迫を三十回を二セット行いましたが、思った以上に体力を使い驚きました。次にAEDを使用しましたが、音声に指示されたことを行えば良いため、ミスを起こす事がなく誰にでも簡単な操作で使えるものでした。

今回、講習に参加して良かったと、純粋に思えるものでした。今回の事を生かし、施設や街中で、その様な場面に遭遇したときに中心になって取組みたいと思います。

第39回全国身体障害者施設協議会研究大会に参加して

支援員　原　麻里奈

七月九日～十日、第三十九回全国身体障害者施設協議会研究大会に参加してきました。一日目は、誘導・案内の係だった為、講演や基調報告等には参加出来ませんでしたが、二日目は五つの実践発表を拝見しました。

特に印象的だったのは、「誤嚥性肺炎0を目指して～口腔ケアの実践と安心して食べられる環境作り～」の発表です。ST指導の下、全利用者の嚥下検査を行い、自助具や食事介助の仕方、車椅子のリクライニングやクッションを使用した個々にあった介助方法の見直しだけでなく、個別介助マニュアルを作成し車椅子に保管していました。時間に余裕を持ち丁寧に介助出来る様日課を見直し、帰省時にも適切な介助が行えるよう家族にも研修を行っていました。

今後施設でも、高齢化・機能低下による咀嚼力の低下等により、サービスの個別化、定期的な見直しを行っていく必要があると感じました。

第39回東北ブロック身体障害者施設職員研修会に参加して

支援員　猪狩　寧浩

九月十日～九月十一日の二日間にかけて、ホテルメトロポリタン山形にて行われた第三十九回　東北ブロック身体障害者施設職員研修会に参加してきました。

東北六県の身体障害者施設に勤務している二百人を超える職員が一堂に会する様子には驚くとともに、多くの人たちが福祉の仕事に携わっていることに心強さを感じ、また、東日本大震災の際に他施設からの支援物資がカナン村の生活を支えていたことを考えると、施設間の繋がりは不可欠であるとも感じました。

研修会では、全国身体障害者施設協議会会長日野博愛氏による基調報告や東北ブロック身体障害者施設協議会会長白江浩氏による講演の他、分科会では他事業所の方々と誤嚥の予防についての討論を行い、非常に密度の濃い時間を過ごすことができました。

今回の研修会では多くの事業所の方と交流することができ、自分の中に新鮮な空気を取り入れることができました。日常の業務だけではどうしても視野が狭くなってしまうため、このような機会を頂けることは大変ありがたいと感じるとともに、今回の研修で学んだことを活かして更なるサービスの向上を図りたいと思いました。

手すりが長くなりました

車椅子を使用する利用者さんが多くなってきたことに伴い、男女棟の廊下から和室にかけて新たに手すりの増設を行いました。

利用者さんからも「安全に和室に行くことができるようになった」との声が聞かれております。

ボランティア紹介

こだま

こだま（代表　松下和江さん）の皆さんは、以前は桐の会という名称で、現在はこだまと名称を改めて、永くカナン村においてボランティア活動を行っています。活動としては、地区買い物会やショッピングデイ、日帰り旅行などの外出行事での利用者の皆さんの付添や、施設来所時は、衣類の繕い縫製や、窓拭きなどの環境整備等、カナン村の利用者さんとの直接交流から間接的な支援まで幅広く活動を行っています。

利用者さんもこだまの皆さんとの付き合いは永く、互いの関係から、安心して車椅子を押してもらったり、買い物の相談をしたりしています。派手な活動ではありませんが、永い間継続して当施設に関わる活動をしてきた事により、何よりも大事な利用者さんとの確かな信頼関係が築かれており、施設としても安心してさまざまな事をお願いする事が出来ます。

どうぞ今後も、メンバーの皆さん健康に留意され、継続して当施設と利用者の皆さんを支えていただければと思います。

いわき北地区更生保護女性会

七月七日（火）にいわき北地区更生保護女性会の皆さんが来所され、ボランティア活動を行いました。

皆さんは、毎年カナン村を訪れ、窓拭きや中庭のお掃除などを行っていただいています。今年は環境整備の一環として、プランターの植栽を行っていただき、中庭の喫煙所脇にプランターを並べ、記念撮影を行いました。色とりどりの花が、利用者の皆さんの心を和ませていました。

やじーとのぶちゃん

今年二月に来所し素晴らしい三線演奏と唄を聞かせてくれた、やじーとのぶちゃんこと矢島敏さんと仮屋伸子さん（茅ヶ崎三線クラブ）が、十一月五日（木）に再度来所しました。今回もまた前回と違う曲を交え、楽しい演奏と唄のプレゼントをしていただきました。利用者の皆さんも再度の訪問にたいへん喜び、思い思いに踊るなど一緒になって楽しんでいました。ありがとうございました。

感謝

毎年のクリスマスごとに、関西学院大阪インターナショナルスクールの小学部（四歳～一歳）の子供たちより、当施設に寄付をいただいております。利用者の処遇向上に利用しています。ありがとうございます。

コン・アモーレ

文化の秋、利用者の皆さんに素敵な音楽のプレゼントがありました。九月二十五日（金）、市内で活動するコン・アモーレのお二人が来所され、ギターにより数々の名曲の演奏が行われました。素晴らしい音色に利用者の皆さんも、ゆったりと聞き入り、素晴らしい一時となりました。ありがとうございました。

特集 2015カナン・野の花祭

二年連続雨天続き…「今年こそは絶対晴れて欲しい!!」と強く願っていました。そして十月四日カナン・野の花祭当日…願いは届き晴天の中の開催となりました。

今年から、開会宣言と小島保育園園児による鼓笛隊を組み合わせ、華やかな開会セレモニーの幕開けとなりました。恒例の催し物を始め、焼き鳥・焼きそば等の模擬店、利用者さんと職員が協力し作成した作品の展示、そして好評いただいている天ぷらうどんとカレーライス…どれもこれも最高の演出となりました。また、私たち職員の力では及ばないところをボランティアの方々が頑張ってくれたおかげで、最後まで滞りなく楽しいお祭りとなりました。ご協力いただいた皆様や来賓の方々、そしてご来場者の皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

私的な事となりますが、カナン・野の花祭の実行委員に携わって三年…最後に実行委員長を務めさせて頂きました。準備を念入りに進めてきたつもりでしたが、終わってみると反省点も多く、祭り開催は本当に大変な仕事だと実感させられました。毎年の実行委員長の反省を胸に、来年の実行委員長にも頑張って欲しいとエールを送ります。皆さん、来年もお楽しみに！（細谷）

日帰り旅行

今年も恒例の利用者自治会主催の日帰り旅行が九月四日、九月十七日に行われました。

今回の旅行先は仙台方面で松島と、うみの杜水族館へ出掛けました。まず松島方面へ向かいホテルにて昼食です。一人ひとり御膳が並び品数も豊富で、美味しく昼食をいただけたのではないでしょうか。

食事の後は、今年七月一日にオープンしたうみの杜水族館へと移動しました。水族館では様々な魚を見学することができ、特に宮城県で有名なほや貝や牡蠣貝のめずらしい魚の展示があり見学される姿が見られました。また、イルカのショーが行われて多くの皆さんがショーを見て楽しむことができました。

今回の日帰り旅行は天候不良や交通事情にみまわれるという状況もありましたが、無事に楽しんで出掛けることができました。

徒然なるままに

vol.5

最近、老境に近づいてきたせいでもないだろうが、新聞の折り込みに入る「おくやみ」の知らせに目が行くようになった。

知人の訃報を知らずにいて、義理を欠く失礼がないようにということや、多くの人は何歳ぐらいで亡くなっているのだろうかという単純な思いからである。

自分の年齢より若い人だと少し早いと感じ、八十代九十代まで生きられた方だと天寿を全うしたと思ってしまう。

喪主が弟妹や子供さんだと配偶者の方が先に逝ったのだろうかとか或いは独身だったのだろうかなど勝手に人の人生を想像している自分がいる。

人には一生の間に、長い短いの差はあっても支えなしには生きられない時がある。

オギャーと生まれて一人前になるまで何年掛かるだろうか。例えば動物の赤ちゃんだと、生まれて数時間で立上がり母乳をまさぐり、明日への生に繋げようとする。

しかし、人間はそうはいかない。誕生、そして這い這いから歩行、入学・卒業、結婚、出産と一人前になるまでに相当な時間を必要とする。なかなか親離れ、子離れができない所以なのかもしれない。

そうこうしているうちに、やがて人は最期の時を迎える。その時、やはり誰かの支えの中で生を終える。出来ることなら生きている限りは元気でいたい。誰しもの願いであり望みでもある。

「コロリ三観音」の信仰が生まれたのは、そうした思いからだろうか。三観音を巡拝し罪障消滅を祈願すれば、死の床に際しても苦しまずに成仏でき家族に余計な負担をかけずにすむと言われている。

在原業平は「ついに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを」と辞世に詠んだが、(古今和歌集) 人はいつか死ぬと分かっていても、まさか自分の死が、昨日今日に差し迫ったものだとは思ってもいない。

死後の世界は行ったことがないので私には分からないが、キリスト者であられた故大河内一郎先生は詩集・雑木林に次のような詩を書いている。

天国はうるさいだろうな
善人ばかりいるんだもの
いきがつまりそうだろう
おごそかな偉い眼
きびしいまじめな眼
見つめられたら
おどおどしてしまうだろう

大河内先生のご命日五月二十二日には、墓碑のあるシオンの丘で毎年恒例の追悼祈念式が行われる。

(大河内記念館　館長　岡部　明)

☆個人情報保護法の全面施行に鑑み、紙面内写真は、本人等の了解のもと、掲載しております。

カナン村内＆周辺 最新放射線量 測定結果
(2015.11.20 現在)
単位：マイクロシーベルト

玄関前	0.101	食堂	0.082
男子棟	0.073	体育館	0.087
男子棟前庭	0.104	作業棟	0.072
女子棟	0.070		
女子棟前庭	0.110		

施設内外とも、問題ない数値となっております。

平成26年５月～11月の歩み

５月	15日	平成27年度　障がい者福祉施設等職員基礎研修（郡山市）
	17日	第53回福島縣障がい者総合体育大会（郡山市）
	18日	平成27年度　キャリアパス制度理解研修（郡山市）
	20日	平成27年度　社会福祉施設等職員初任者基礎研修（郡山市）
	27日	法人理事会・評議員会
６月	２日	法人設立記念日
	８日	平成27年度　福島県障害者支援区分認定調査員研修会（郡山市）
	11日	マイナンバー制度セミナー（いわき市）
	17日	2015年グローバル東亜業務用食品展示フェア（東京都）
	22日	散髪日（四倉床屋組合）
	23～24日	平成27年度　喀痰吸引等指導者養成講習（二本松市）
	24～26日	平成27年度　福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修（福島市）
	26日	平成27年度　ボランティア受入福祉施設等担当者研修（郡山市）
	30日	施設内研修（救急救命）
７月	１日	平成27年度　地域保健関係職員等研修（いわき市）
	２日	施設内研修（設備機器説明会）
	７日	いわき北地区更生保護女性会ボランティア
	９～10日	第9回　全国身体障害者施設協議会研修大会（仙台市　所長）
	13日	平成27年度　認知症高齢者対応研修（郡山市）
	22日	平成27年度　福祉サービス第三者評価研修会（郡山市）
	22日	マイナンバーセミナー（いわき市）
	22日	いわき集団栄養給食研修会（いわき市）
８月	７日	健康管理等企画運営委員会（郡山市）
	10日	散髪日（四倉床屋組合）
	10～11日	平成27年度　キャリアパス制度導入研修（いわき市）
	20日	ショッピングデー1班　（イトーヨーカドー　いわき平店）
	25日	ショッピングデー2班　（イトーヨーカドー　いわき平店）
	26～28日	平成27年度　福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修（福島市）
	27日	ショッピングデー3班　（イトーヨーカドー　いわき平店）
９月	２日	平成27年度　福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修（福島市）
	４日	日帰り旅行1班（宮城県）
	10日	第39回　東北ブロック身体障害者施設職員研修会（山形市・所長）
	14日	平成27年度　社会福祉施設栄養士研修（いわき市）
	16日	困った家族等への対応能力UP&虐待対応（施設従事者編）研修（いわき市）
	17日	日帰り旅行2班（宮城県）
	24日	平成27年度　安全運転管理者等講習（いわき市）
10月	４日	2015カナン・野の花祭
	５日	いわき市集団栄養給食研究会（いわき市）
	５日	福島県栄養士会いわき支部研修会（いわき市）
	16～17日	平成27年度　災害派遣福祉チーム員養成研修（郡山市）
	20～21日	東北ブロック身障協施設長会議（岩手県・所長）
	26日	散髪日（四倉床屋組合）
	31日	平成27年度　障連協研修委員会主催第一回研修会（いわき市）
11月	９日	女性利用者インフルエンザ予防接種
	10日	平成27年度　地域保健関係職員等研修会（いわき市）
	12日	福島県議会議員不在者投票
	13日	男性利用者インフルエンザ予防接種
	13日	平成27年度　補装具適正給付検討会・身障福祉関係職員研修（郡山市）
	26日	いわき集団栄養給食研究会（いわき市）
	26日	平成27年度　職員資質向上研修会（会津若松市）
	28～29日	平成27年度　ケア・リハビリ研修会（郡山市）

カナン かわら版

銅賞に入選

第三〇回障害者による書道・写真全国コンテストにおいて、成田浩記さんが出展した作品『凜』が見事に銅賞に入選しました。

表彰職員紹介

○第69回福島県社会福祉大会会長賞

鯨岡　晋一 支援員

○第41回いわき市総合社会福祉大会会長賞

細谷　　泉 支援員

塩川　　徹 支援員

大谷　紀弘 介助員

退職職員

坂田　仁美 支援員

九月三十日付で退職となりました。

ありがとうございました。

訃報

以前カナン村に勤務していた藍原慶一パート支援員が十二月三日に逝去されました。安らかな眠りをお祈りいたします。

あとがき

日帰り旅行とカナン・野の花祭が終わり、年内の行事はクリスマス祝会を残すのみとなった。今年は男性職員に若いメンバーが二人増え、例年とはまた違った気持ちで利用者の支援ができたように思う。

自分の環境が変わったからか、少し違った視点で周りが見えるようになった。他の職員を見ていて、利用者から頻繁にお礼を言われていることに気が付いたのも最近である。自分もそうなのかと気にしてみると、一日の中で予想以上のお礼の言葉をもらっていた。決して聞き流していたわけではないのだが、慣れてしまっていたのかと思うと申し訳ない気持ちになる。

日常生活において、他者から感謝の言葉をもらえることはそう多くないだろう。毎日となればなおさらである。未だ学ぶことが多く至らぬ点も多い身であるが、利用者からの「ありがとう」を真摯に受け止め、その言葉に応えられるような職員でありたいと思う。（寧）